



エドワード・コップ

Edward Kopp

Chubb損害保険株式会社

代表取締役社長

ファー・イースト リージョナル・プレジデント

ごあいさつ

Message from the President

あらゆる面でエクセレンス(卓越性)を追求し、 皆様のご期待に応えるよう、一層精進してまいります

チャブ保険は2025年度も堅調な業績を収めることができました。ひとえに皆様のご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。事業全体にわたって着実な成果を上げることができ、日本の損害保険業界における存在感をさらに強化することができたと自負しております。

2026年3月期の日本基準での会計事業年度において、元受正味保険料は前年比10.0%増、正味収入保険料は再保険スキームの見直しもあり同21.6%増の約360億円、保険引受利益は43億円、コンバインド・レシオは73.6%となりました。これらの結果は、ひとつひとつの業務における着実な積み重ねと、堅実なアンダーライティングによるものと考えております。P&C(企業向け 火災新種保険)、A&H(傷害・医療保険)、パーソナルラインズ(個人向け 火災保険、自動車保険)のすべての事業分野において、継続的な成長を実現することができました。

このような成果を継続して上げることができたのは、大切なお客様からの変わらぬご支援と代理店パートナーの皆様のお力添え、そして社員一人ひとりの真摯な取り組みがあってこそその結果と確信しております。変化の激しい市場環境の中においても、規律あるアンダーライティング、イノベーション、業務の質の向上に取り組むことができました。

グローバルレベルでも、Chubbは2025年に良好な結果を収めることができました。堅実なアンダーライティング成果と運用益に支えられ、営業利益は過去最高を記録し、1株当たり利益も二桁成長を達成しました。また、北米・アジア・欧州・中南米のすべての地域がバランスよく成長に貢献し、グローバルな事業基盤の強みを改めて実感しております。

正味収入保険料は6.6%増の548億米ドル、損害保険事業のコンバインド・レシオは85.7%となり、アンダーライティング・モデルの安定性と分散効果の恩恵を感じることができた一年でした。

今後を見据えると、私たちには大きな成長の機会が広がっています。テクノロジー、AI、データ、業務プロセスの変革への継続的な投資は、アンダーライティング、保険金支払い、そして顧客サービスの向上に貢献しており、長期的な持続的成長に向けた態勢を整えています。すべてのステークホルダーの皆様への持続的な価値の提供のため、収益性ある成長、適切なアンダーライティング、業務効率化への取り組みを続けてまいります。

あらためて、ステークホルダーの皆様には、継続的なご支援とご貢献に心より感謝申し上げます。2026年度も、あらゆる面でエクセレンス(卓越性)を追求し、皆様のご期待に応えるよう、一層精進してまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

